

法人第 18 期（団 61 期）団運営方針

『新たな一歩』

61 期は、次の 10 年、次の 30 年に向けて持続可能な団運営を目指し、革新と伝統の融合を図りながら歩み始める第一歩とします。60 年間受け継いできた伝統はすべてが財産ですが、その本質を慎重に見極め、残すべきものは残し、変えるべきものは思い切って変える覚悟で新しい歴史を築いていきます。

スカウティングをより一層充実させるために、育成会、団委員会、隊指導者、保護者が活発に連携し、協力体制を強化します。各役割が持つ専門性と経験を活かし、スカウトにとってより良いプログラムを提供することを目指します。また、様々な活動を通じて、スカウティングの魅力を広く伝え、地域社会とのつながりを深めていきます。

重点方針

1. 従来の団運営および隊運営の方法を見直し、現在の人数規模に適した役割と人員を再配置します。これにより、団・隊指導者全員が最適な役割を果たし、全員で協働する団を実現します。
2. 各隊が提供する魅力的なプログラムと相互連携により、スカウトの上進と進歩制度の一貫性を促進します。
3. 従来の型にはまらない時代に即した新しい取り組みを試行錯誤しながら導入します。

重点施策

1-1. 体験会実行委員会の強化:

体験会に必要な役割を明確にし、委員会の機能を強化します。

1-2. 役割と責任の再定義:

各指導者の役割を再定義し、適切な人員配置と委員会編成を維持します。

1-3. 団委員会と団会議:

それぞれの会議の目的を理解し、情報共有と協力体制を強化します。

2-1. 完全団の強みを活かす活動 :

各隊の活動に毎月の進捗があり、BVS 隊から RS 隊まで一貫性を持たせスカウトの成長を支援します。

2-2. プログラムの多様化:

各隊がスカウティングの本質をふまえた独自のプログラムを開発し、スカウト活動を多様で魅力的にします。

2-3. 指導者の成長:

スカウトの成長には指導者の成長が不可欠です。そのために必要な指導者の成長を支援します。

3-1. 未来志向の取り組み：

組織の再編成、新しい役割の創設、情報発信の内容や手法の開発、そして新しいプログラムの試行錯誤を行います。

これらの施策を通じて、浜松第 12 団は柔軟性と創造性を持ち、時代の変化に対応しながら成長し続けることができます。皆で協力し合い、一人ではできないことを実現していきましょう。ご協力をお願いします。